

「第34回練馬こどもまつり」を開催

～ 青空に おおきくはばたけ こどもたち～

と き 5月14日(土) 午前10時30分から午後3時30分

と ころ 都立光が丘公園 芝生広場(光が丘4丁目)
都立石神井公園 石神井池南側(石神井町5丁目)

14日、区は、都立光が丘公園(光が丘4丁目)と都立石神井公園(石神井町5丁目)で「第34回練馬こどもまつり」を開催した。快晴に恵まれたこの日は、両会場合わせて親子連れなど延べ5万人以上が訪れ、50以上のアトラクションを楽しんだ。

今年は4月に発生した熊本地震支援のため、会場内5カ所に義援金のボックスを設けて来場者から義援金を募った。

「練馬こどもまつり」は、親子が一緒に楽しめる遊びを通じて家族や子ども同士の交流を深めてもらおうと、昭和58(1983)年から毎年開催し、今年で34回目。

当日は子ども実行委員による運営補助のもと、笑い声や歓声が絶えない最高の一日となった。子どもたちは、これまで練習を重ねてきたダンスや合唱などをステージで披露したほか、会場内の木工教室やモンキーブリッジなど、数多くのアトラクションを楽しんだ。

光が丘公園会場に遊びに来た、親子は「広い公園で子どもたちがのびのびと遊べてとても良いと思う。来年もまた遊びに来たいです。」と話してくれた。



▲綱の上を歩くモンキーブリッジで遊ぶ子どもたち



▲ステージでダンスを披露する子どもたち

【合計50の遊びに子どもたちは大満足！】

当日は会場内の木を利用したモンキーブリッジ体験やオリエンテーリングを始め、けん玉や木工、水力船作りなど、50にも及ぶ様々な遊びを楽しんだ。

ステージでは、イクメン戦士ネリマックスショーや、子どもたちによるバトントワリングやチアリーディング、和太鼓演奏など、子どもたちがこれまでの練習の成果を発表した。



▲当日は約5万人の人出で賑わった

【参考】「練馬こどもまつり」について

親子が一緒に楽しめる遊びを通じて家族や子ども同士の交流を深めてもらおうと、昭和58年から毎年開催している。児童館、地区区民館、厚生文化会館などの児童厚生施設や子育て施設、NPOなどが、子どもたちのために楽しめる遊びを各コーナーで用意している。また、同イベントは「子どもたちのための最大の祭典」として多くの子どもたちが来場できるよう、2カ所の会場で開催している。

【参考】子ども実行委員について

練馬こどもまつりの運営のお手伝いとして区内の児童館から子どもたちを事前に募集し、3月から準備に携わってきた。当日は自分たちの所属する児童館の出し物の発表やブースの運営の補助を行うなど、子どもが主役のおまつりを盛り上げた。

【問い合わせ】 練馬区 子育て支援課 子ども育成係 電話 03-5984-5827